

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成28年10月25日
第827号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1
Tel : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) Fax : 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : skotoba@sado.ed.jp



「だってお前は公平だから」。子どもの頃、例えば苺を家族のお皿に分ける等の仕事はいつも私がしていました。そのとき母が言ってくれたのがこの言葉です。単純な私はその信頼がうれしくてそれからは苺の大きさまで気を付けるようになりました。本当に小さなことですが「信じてもらえた」ことが今でも私の力になっているように思います。

親の気持ちに寄り添うということ

中央福祉相談センター
中澤 麻有子

ある時、あるお母さんから「子どもが言うことを聞かずにもう限界だ」と相談を受けました。お母さんに気持ちの余裕がなく、子どもができないことや悪い面しか目に入らないようでした。お話の中で、子どもが料理に興味があり、手伝いが上手にできることが分かりました。私は悪循環になっている母子関係を改善するきっかけになればと思い、お母さんに料理を通じて子どもに褒めるかかわりをしてほしいとお願いしました。お母さんは、「今でも頑張っているのに、もっと頑張らないといけないのか」と言い、私は、自分の対応が、限界と訴えているお母さんにさらに頑張れと無理強いしていたことに気付きました。お母さんは、「話すだけ話したらすっきりした」と言い、私からは「無理せず余裕があったらいいですよ」とお伝えしました。

それから10日ほどしてお母さんから連絡があり、学級担任から「最近落ち着いてきたが何かあったのか」と聞かれたとのこと。あれから褒めるようにしていたのだそうです。

頑張っているお母さんを追い詰めてはいけない、まずは共感し気持ちを受け止め、寄り添うことが大事だという基本的なことを改めて認識した出来事でした。

私たちができること

正しく流ちょうに音読ができない、板書を写すことが苦手である、書字が整わないなどの困り感をもつ子は、視覚機能が十分に発達していない可能性があるそうです。

私はそのような子どもたちの指導に「ビジョントレーニング」を取り入れることがあります。静止物を5秒間注視できるか、ペンなどの対象物を目で追えるかなどの眼球運動のチェックを行います。上記のことが苦手なお子さんは、視標から視線が外れてしまったり、目だけで対象物を追えず頭も一緒に動いたりすることがあります。私たちが「当然できるだろう」と思うことが、視覚機能が十分に発達していない子にとっては、大変難しいことなのだ改めて感じます。

トレーニングとして行うものの他に、日常での支援がなにより大切です。音読が苦手な子には、文字を指で押さえるよう声を掛ける、教科書を拡大する、文節など区切るところに区切りを入れる、助詞を丸で囲む、振り仮名を付けるなどの支援を普段の学習に取り入れることで、音読の負担を少しでも軽減することができます。困り感を抱える子どもたちにとって、どんな支援が望ましいのか考え、取り組んでいくことが大切です。(椿)

【参考文献】北出勝也：学ぶことが大好きになる「ビジョントレーニング」図書文化社,2009

親の会コーナー



第1回判定委員会がありました

10月24日（月）に金井小学校で第1回判定委員会が行われ、幼児・児童・生徒、計65人の入級が認められました。

判定委員の皆様、ありがとうございました。



寄贈図書を紹介

前親の会会長の田中美紀様より
図書を寄贈していただきました。

西原理恵子著「毎日かあさん」、
沖田×華・君影草著「はざまの
コドモ」です。

貸し出しを希望される方は、
お声掛けください。



第2回学習会の案内

第2回学習会を下記の通り計画しました。多数の御参加をお待ちしております。

○日時と会場 平成28年11月20日（日） 13:00～15:30 【会場：金井小学校】

○内容

☆講演会 13:00～14:30

《講師》^{うすい まふみ}碓井 真史 様（新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科 社会心理学教授）

《演題》「幸せの心理学～子どもたちの心の問題解決に向かって～」

◇ミュージックケア（保育希望のお子さん） 13:00～14:30

《講師》^{ふくだ ちえこ}福田 智恵子 様（あいかわ幼稚園園長 日本ミュージックケア協会認定指導者）

☆保護者懇談会（希望者） 14:40～15:20



参加御希望の方は、佐渡ことば・こころの教室までお問い合わせください。

【担当：滝田・金子・菊池】